## 平成 18年度 伊丹市行政評価 ~事務事業評価編~

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けが ■ あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。

事務事業コード	999915		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点(H18年8月)のものであり、その後の状況変化などにより、公					点において実	『施時期や事業費	等が変更になってい	る場合があります。
事務事業名	市政功労者関連事務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					総合政策秘書記				_	
事業内容	伊丹市政推進に、とくに功績のあったもので、今なお活躍している者に対し、市バス無料乗車証と市立施設等の利用の便宜の供与並びに、市政に関する資料等を配布する。 - 第業終了(予定)年度							評価結果上位施策に対する貢献			
この事業の 上位施策		視点								度はやや高く	効率性
	これから5 年間のまち づくりプラン	項目						を点検した上で継続す る。			
		施策	_			٠ •					
	⇒ 「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18~ 取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						的に 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する 評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等 を加味して総合的に評価したものです。				
事業の目的	ふるさと賞受賞者、伊丹市政推進に特に功績のあった者に対し、市政とのより緊密 な連携を確保し、今後の市政推進に役立たせるものとする。							<ul><li>(款) 総務費</li><li>(項) 総務管理費</li><li>(事項) 一般事務費</li><li>(目) 一般管理費</li></ul>			
	平成17年度(決算)					平成18年度(予算)					
	事業費		2,660千円	財源内訳					財源内訳		
				国-県補助金等	_				国・県補助		_
		0		市債		事業費		3,000千円	市	債	_
	于木具	∠,	00UTH	8		于木具	3	3,000十円	•		
	于木具	∠,	HTU00	その他(使用料等)	_	<b>中</b> 不具		3,000±H	その他(使月	用料等)	_
事業費等の概算	<b>平</b> 木具	۷,	000+15	その他(使用料等) 一般財源(市税等)	2,660千円	<b>学术</b> 具	3	3,000十円	その他(使月	用料等)	3,000千円
事業費等の概算	投入人員	0.03		その他(使用料等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業により算出しています。算道	2,660千円 2,660千円 こ投入される人的資源を概算に 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量・課の全仕事量)	投入人員	0.20		その他(使月 一般財源(デ →年間を通じて より算出してい	月料等) 市税等) この事業に投入されます。 算式で表す	3,000千円 つる人的資源を概算に と次の様になります。 事量÷課の全仕事量)
事業費等の概算			3人	その他(使用料等) 一般財源(市税等) →年間を通じてこの事業はより算出しています。算式=担当課職員数×(当該	こ投入される人的資源を概算に 式で表すと次の様になります。			0人	その他(使月 一般財源(す →年間を通じて より算出してい =担当課職員数	<b>  料等)   抗等)</b> この事業に投入されます。算式で表す数×(当該事業の仕	れる人的資源を概算に と次の様になります。
事業費等の概算	投入人員	0.03	3人	その他(使用料等) 一般財源(市税等) 一般財源(市税等) ⇒年間を通じてこの事業はより算出しています。算定 =担当課職員数×(当該 ⇒年間1人あたり平均人作	□ こ投入される人的資源を概算に 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.20	0人	その他(使月 一般財源(デール) →年間を通じてより算出してい =担当課職員数 →年間1人あた	お	れる人的資源を概算に と次の様になります。 事量÷課の全仕事量)
事業費等の概算 活動指標	投入人員	0,03 257=	3人 千円	その他(使用料等) 一般財源(市税等) →年間を通じてこの事業はより算出しています。第3=担当課職員数×(当該 ⇒年間1人あたり平均人作たものです。	□ こ投入される人的資源を概算に 式で表すと次の様になります。 事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.20	0人	その他(使月 一般財源(『 一般財源(『 →年間を通じて より算出してい =担当課職員》 →年間1人あた たものです。	お	れる人的資源を概算に と次の様になります。 事量÷課の全仕事量)